

いちばん、人を考える会社になる。

第一生命

2014年3月期 第1四半期決算報告

2013年8月9日
第一生命保険株式会社

- 保険料等収入などトップラインは前年同期比で高い伸びを実現。第一生命単体は4月の料率改定の影響を受けたが、内外成長事業の保険販売が順調に推移
- 第一生命単体で逆ざやが大幅に減少。キャピタル損益も改善し、連結業績を牽引した。成長事業もストックの積み上がりを背景に基礎的収益力の改善が進み、経常利益・四半期純利益は大幅増益
- 第一生命単体・第一フロンティア生命で内部留保を積み増した上で、連結四半期純利益は通期業績予想に対して71%の高い進捗

第一生命

業績ハイライト

- 連結業績は大幅増収・増益
- 第一生命単体の資産運用収支改善が業績を牽引し、高い進捗率を達成

(億円)

	13/3期 1Q	14/3期 1Q (a)	前年同期比	
連結経常収益	12,016	14,360	+2,344	+20%
第一生命単体	10,689	10,878	+188	+2%
連結経常利益	294	842	+547	+186%
第一生命単体	406	1,013	+607	+150%
連結純利益	111	263	+151	+136%
第一生命単体	225	428	+202	+90%

<参考>

2013/5/15 発表予想(b)	進捗率(a/b)
46,630	31%
38,540	28%
1,760	48%
1,750	58%
370	71%
400	107%

第一生命

連結主要業績

■ 成長事業の保険料収入増と、第一生命単体の運用損益改善が顕著に

連結損益計算書(要約)⁽¹⁾

(億円)

	13/3期 1Q	14/3期 1Q	増減
経常収益	12,016	14,360	+2,344
保険料等収入	8,883	10,012	+1,129
資産運用収益	2,506	3,391	+884
うち利息・配当金等収入	1,665	1,873	+208
うち有価証券売却益	711	851	+139
うち金融派生商品収益	56	-	△56
うち特別勘定資産運用益	-	547	+547
その他経常収益	626	956	+329
経常費用	11,721	13,518	+1,796
うち保険金等支払金	6,792	7,353	+561
うち責任準備金等繰入額	1,035	3,059	+2,024
うち資産運用費用	1,767	650	△1,117
うち有価証券売却損	127	143	+16
うち有価証券評価損	482	13	△469
うち金融派生商品費用	-	86	+86
うち特別勘定資産運用損	841	-	△841
うち事業費	1,088	1,195	+106
経常利益	294	842	+547
特別利益	39	3	△35
特別損失	68	162	+93
契約者配当準備金繰入額	177	185	+7
税金等調整前四半期純利益	87	498	+410
法人税等合計	△9	251	+260
少数株主損失(△)	△14	△16	△2
四半期純利益	111	263	+151

連結貸借対照表(要約)

(億円)

	13/3末	13/6末	増減
資産の部合計	356,944	357,349	+405
うち現預金・コール	8,487	7,778	△708
うち買入金銭債権	2,850	2,876	+25
うち有価証券	293,909	292,958	△951
うち貸付金	31,409	31,794	+384
うち有形固定資産	12,362	12,281	△80
うち繰延税金資産	676	1,347	+670
負債の部合計	340,453	342,055	+1,601
うち保険契約準備金	317,038	319,752	+2,714
うち責任準備金	310,125	313,036	+2,910
うち退職給付引当金	4,397	4,108	△288
うち価格変動準備金	892	1,033	+141
純資産の部合計	16,490	15,293	△1,196
うち株主資本合計	5,633	5,745	+112
うちその他の包括利益累計額合計	10,787	9,501	△1,286
うちその他有価証券評価差額金	10,993	9,797	△1,196
うち土地再評価差額金	△369	△372	△2

(1) 特別勘定資産運用損(益)は、責任準備金の戻入れ(繰入れ)で相殺されるため、経常利益には影響するものではありません

グループ各社の業績

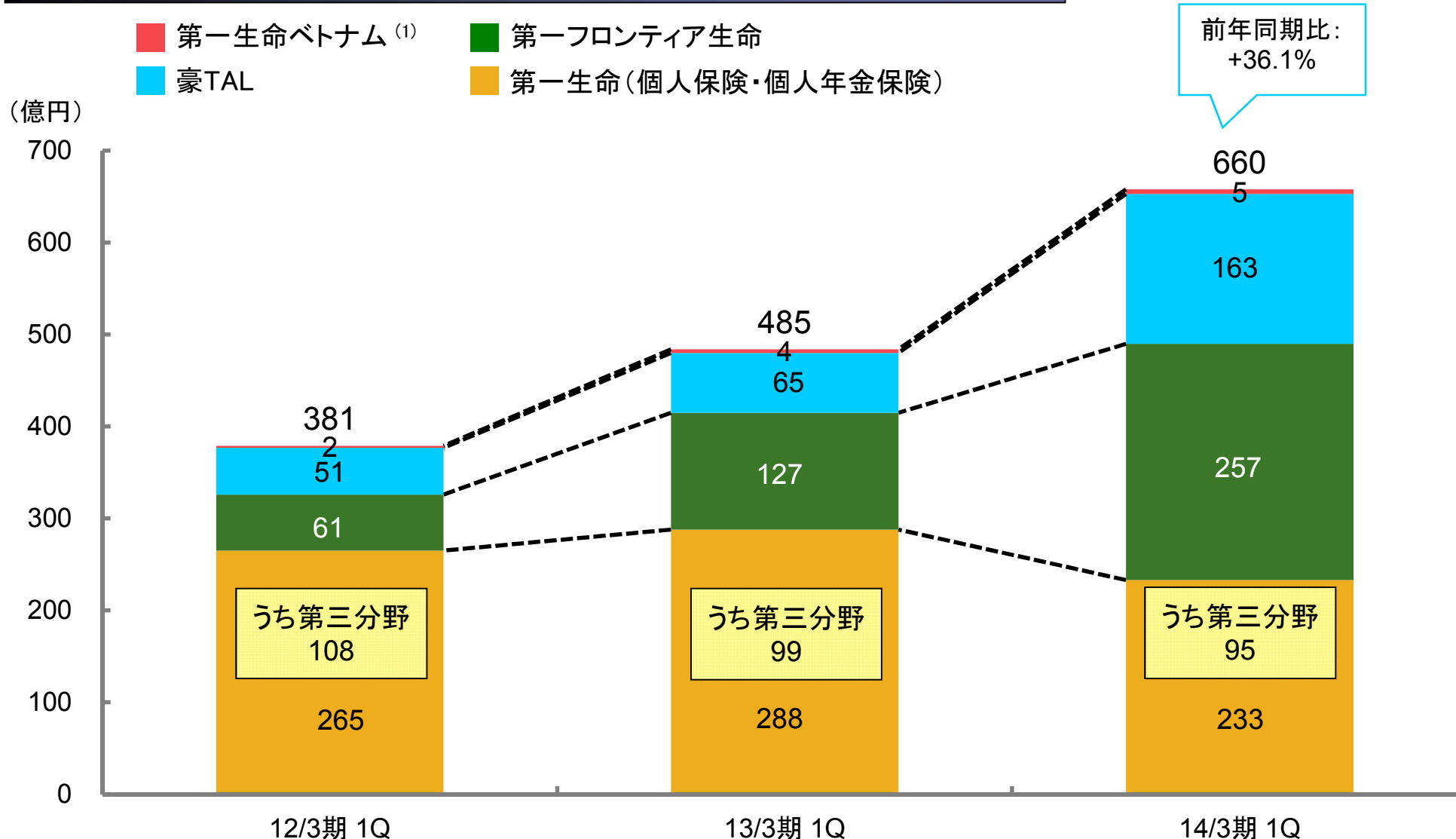
	【第一生命】			【第一フロンティア生命】			【豪TAL】 ⁽¹⁾			【連結】		
	(億円)			(億円)			(百万豪ドル)			(億円)		
	13/3期 1Q	14/3期 1Q	前年 同期比	13/3期 1Q	14/3期 1Q	前年 同期比	13/3期 1Q	14/3期 1Q	前年 同期比	13/3期 1Q	14/3期 1Q	前年 同期比
経常収益	10,689	10,878	+2%	1,067	3,050	+186%	574	660	+15%	12,016	14,360	+20%
保険料等収入	7,639	6,732	△12%	909	2,840	+212%	444	520	+17%	8,883	10,012	+13%
資産運用収益	2,399	3,189	+33%	156	210	+34%	6	43	+564%	2,506	3,391	+35%
経常費用	10,283	9,864	△4%	1,223	3,213	+163%	513	639	+25%	11,721	13,518	+15%
保険金等支払金	6,320	5,982	△5%	266	1,091	+310%	291	355	+22%	6,792	7,353	+8%
責任準備金等繰入額	649	1,243	+91%	466	1,811	+288%	69	125	+82%	1,035	3,059	+195%
資産運用費用	1,353	454	△66%	451	202	△55%	19	7	△62%	1,767	650	△63%
事業費	955	965	+1%	36	100	+178%	113	130	+15%	1,088	1,195	+10%
経常利益(△は損失)	406	1,013	+150%	△ 156	△ 162	--	60	20	△66%	294	842	+186%
特別利益	39	3	△92%	--	--	--	--	--	--	39	3	△92%
特別損失	67	160	+139%	0	1	+34%	--	--	--	68	162	+138%
少数株主損失(△)	--	--	--	--	--	--	--	--	--	△ 14	△ 16	--
四半期純利益(△は損失)	225	428	+90%	△ 156	△ 163	--	42	9	△78%	111	263	+136%

(1) 豪TALの数値は、オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しております

第一生命

新契約動向(年換算保険料ベース)

第一生命グループの新契約年換算保険料

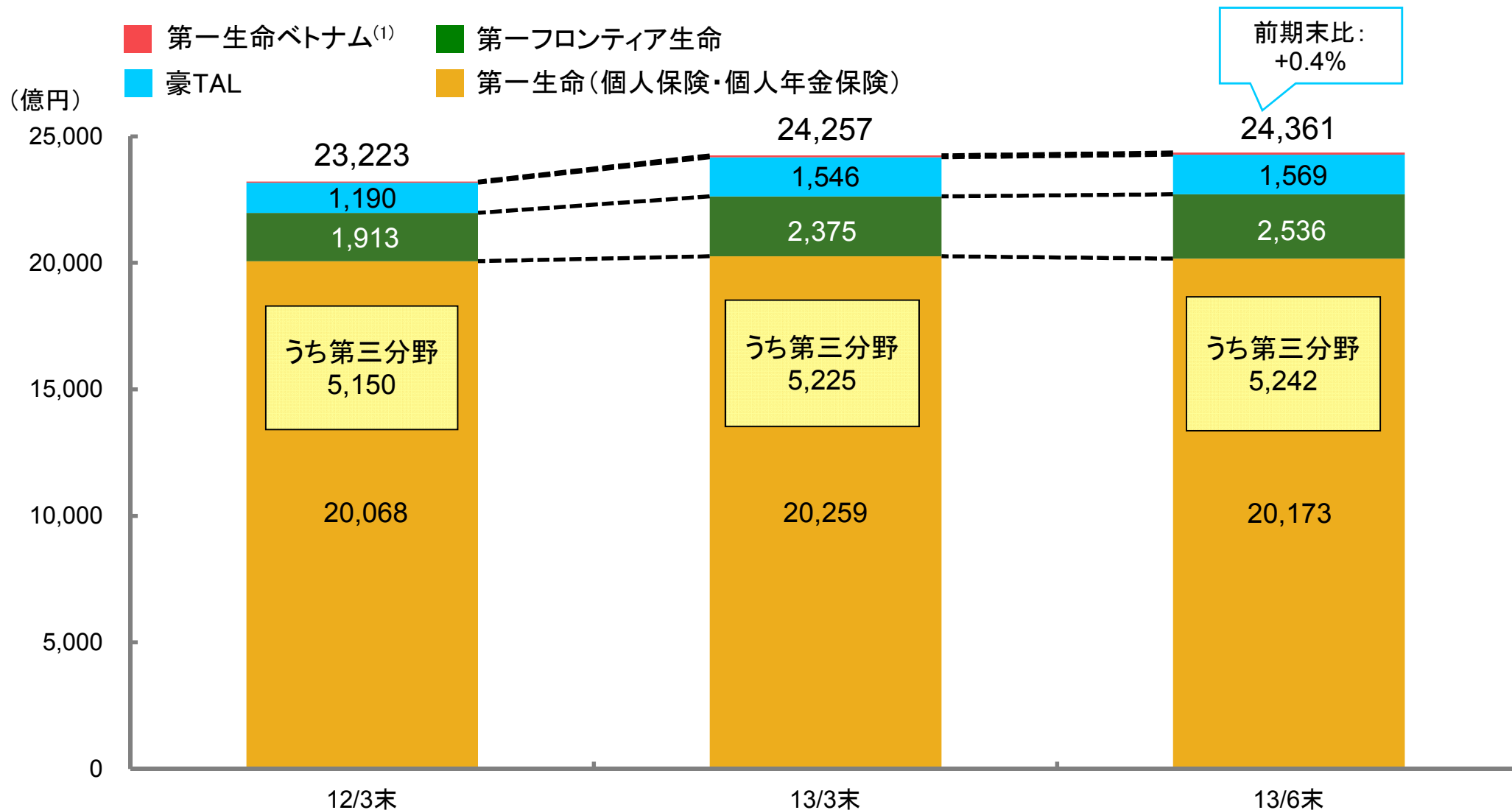


(1) 第一生命ベトナムの決算日は12月31日です。

第一生命

保有契約動向(年換算保険料ベース)

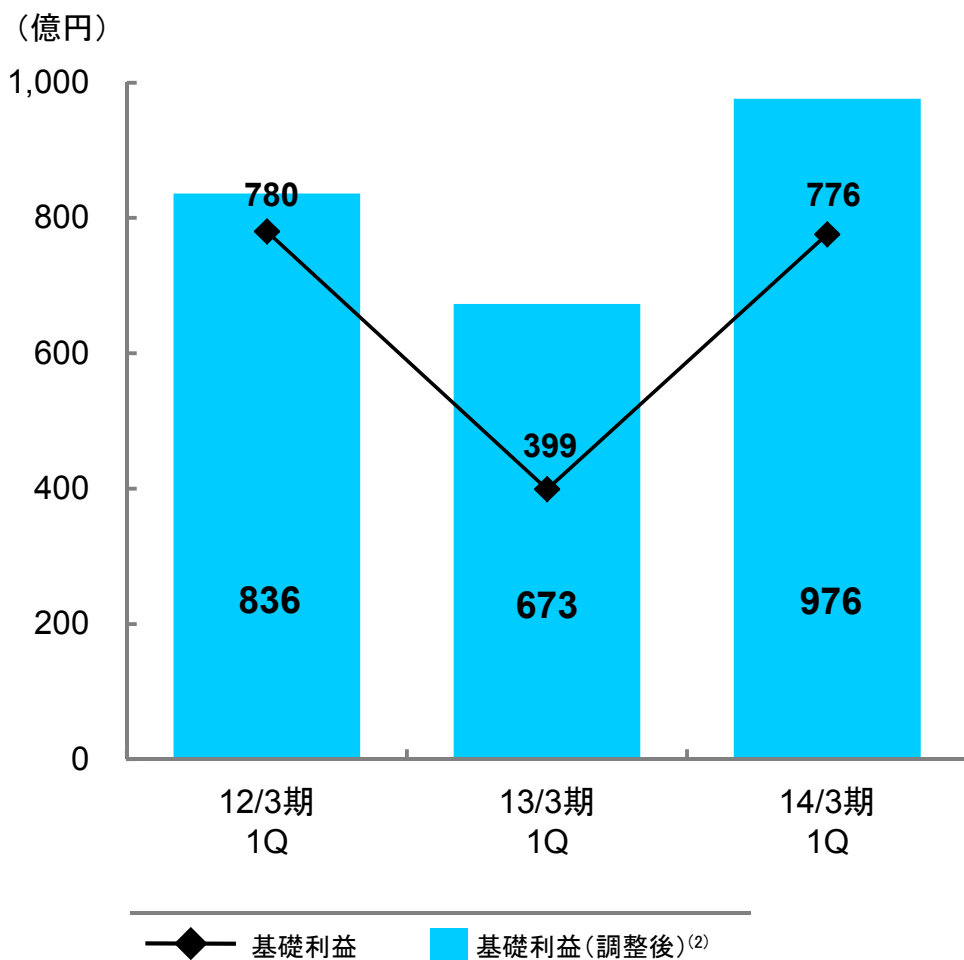
第一生命グループの保有契約年換算保険料



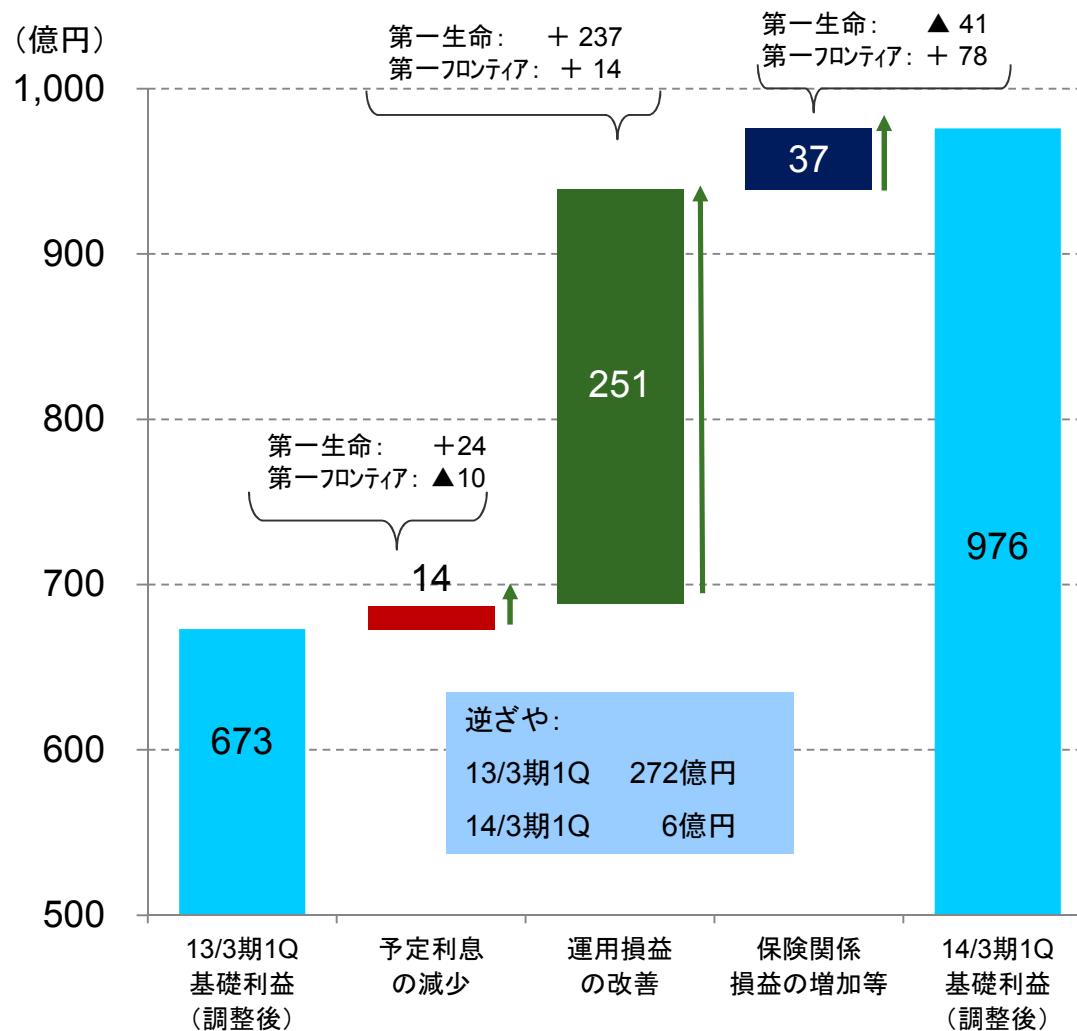
(1) 第一生命ベトナムの決算日は12月31日です。12/31末、13/31末、13/6末の第一生命ベトナムの保有契約年換算保険料はそれぞれ50億円、75億円、82億円です。

基礎利益の状況

基礎利益⁽¹⁾



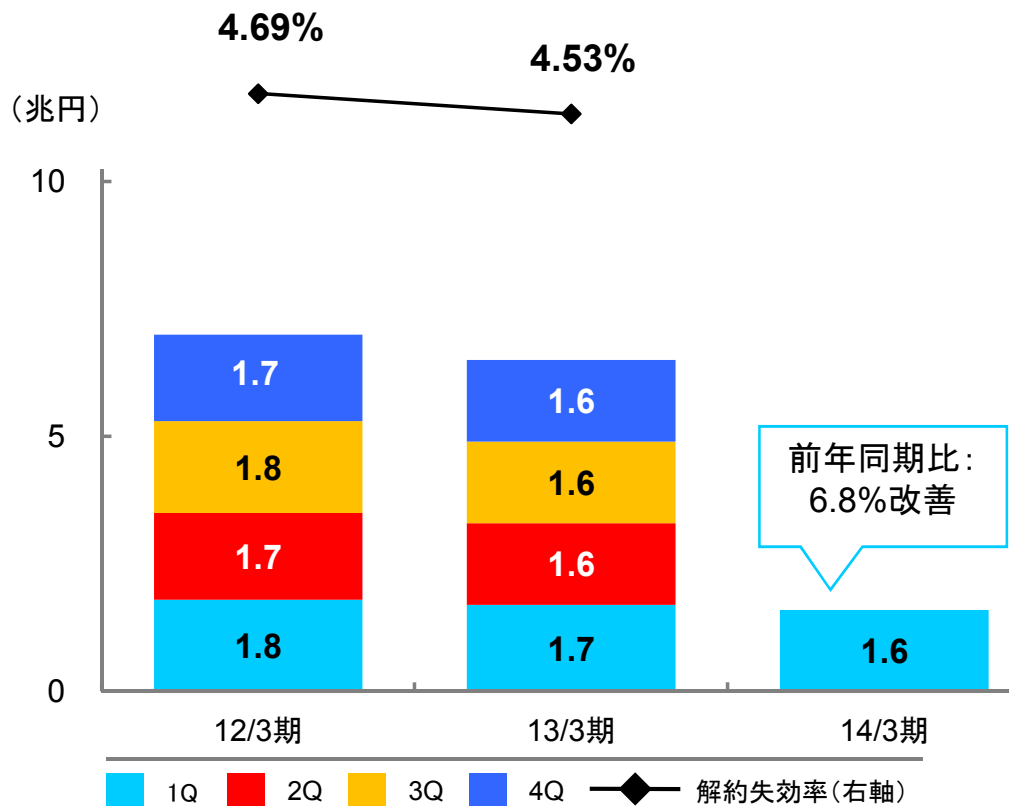
基礎利益(調整後)の変動要因⁽¹⁾⁽²⁾



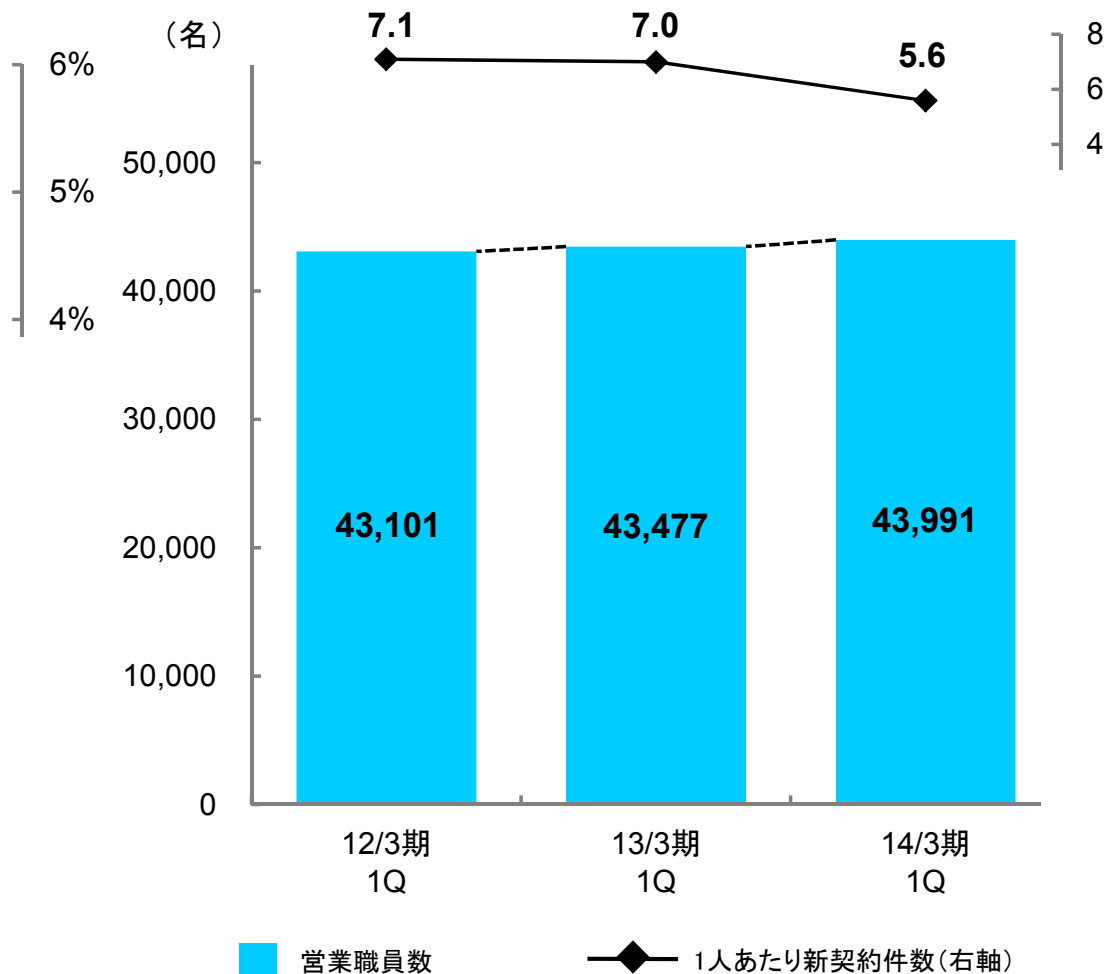
(1) 第一生命と第一フロンティア生命の合算ベース
 (2) 基礎利益(調整後) = 基礎利益 ± 変額年金の最低保証リスクに係る責任準備金繰入(戻入)額

解約失効高、営業職員数

解約失効高(個人保険・個人年金保険)



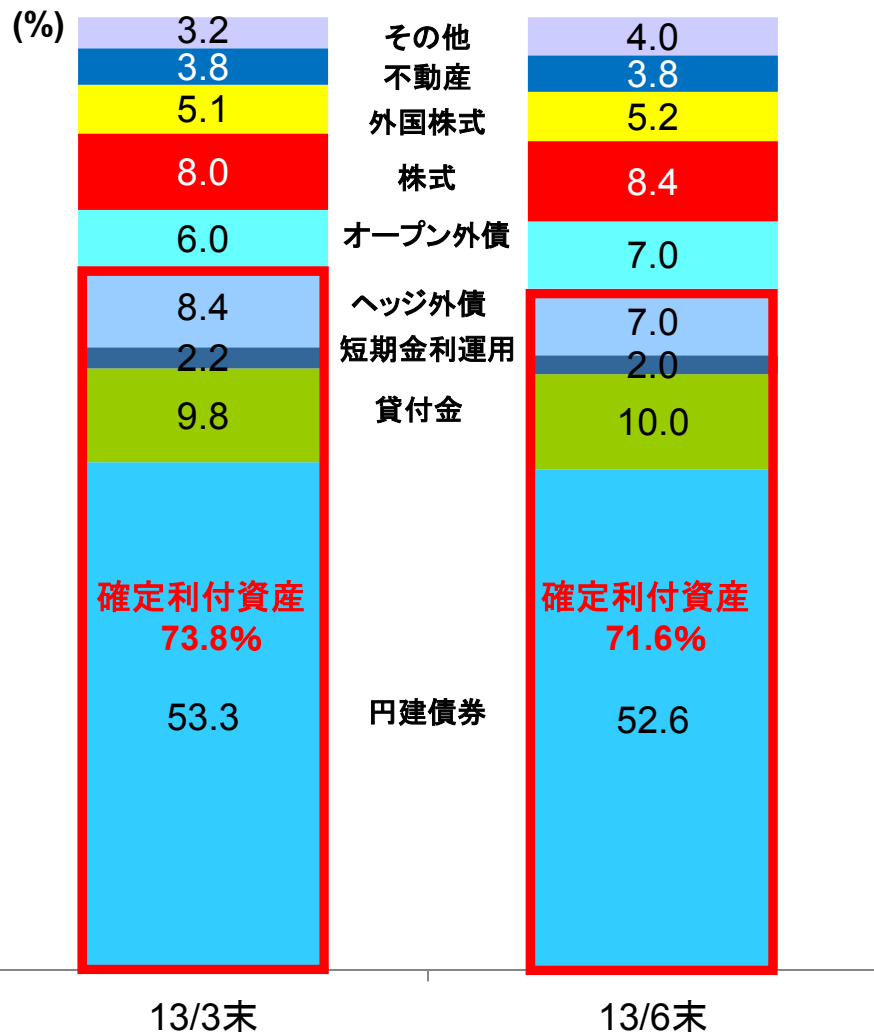
営業職員数および生産性⁽¹⁾⁽²⁾



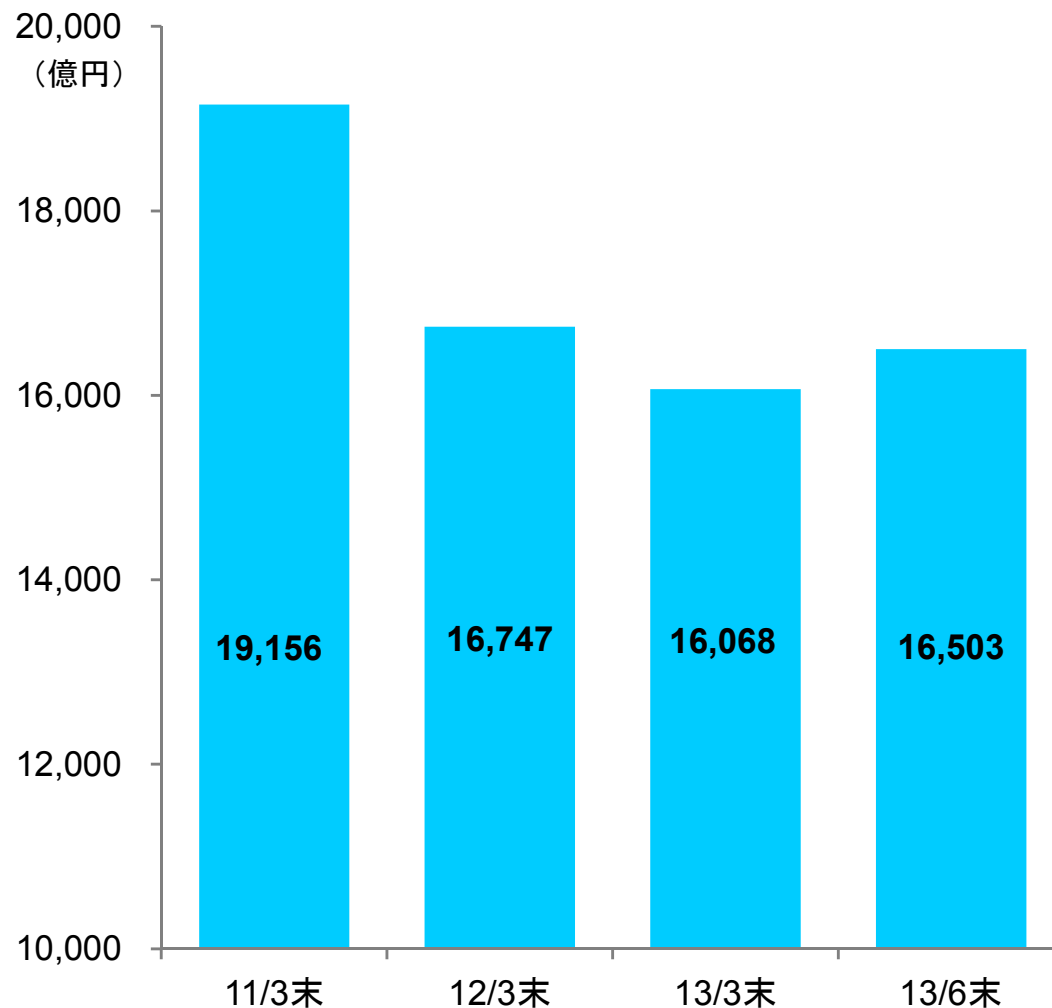
(1) 営業職員については、第一生命と委任契約を締結しかつ生命保険募集人登録をしている者のうち、その他補助的業務に従事する者を除いております。
 (2) 各期間における新契約件数(転換含む)を分子、各期間の営業職員数(補助的業務に従事する者を除く)の平均値(期初・期末の数値より算出)を分母として計算しています。

一般勘定資産運用の状況(1)

資産の構成(一般勘定)(1)



国内株式の簿価(2)



(1) 貸借対照表価額ベース
 (2) 国内株式のうち時価のあるもの(子会社・関連会社株式、非上場国内株式は除く)

第一生命

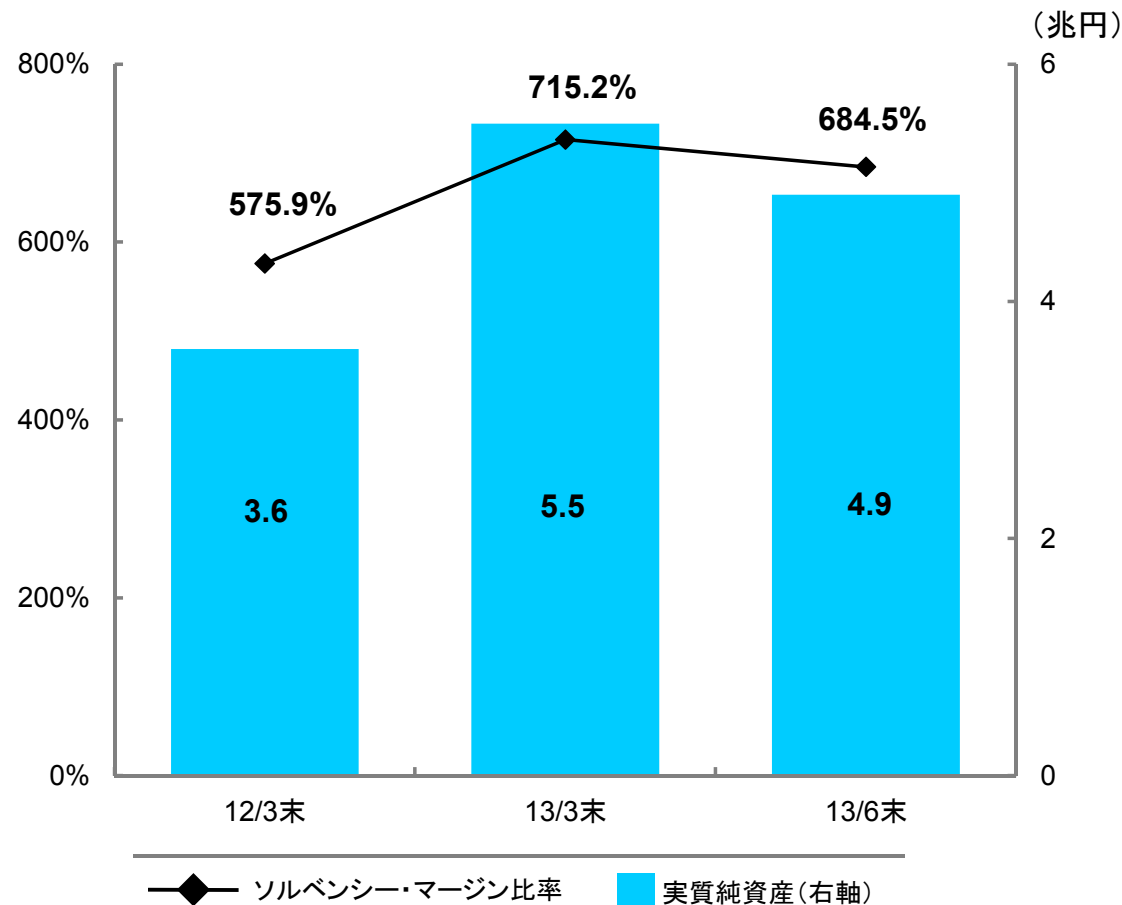
健全性指標

含み損益(一般勘定)

(億円)

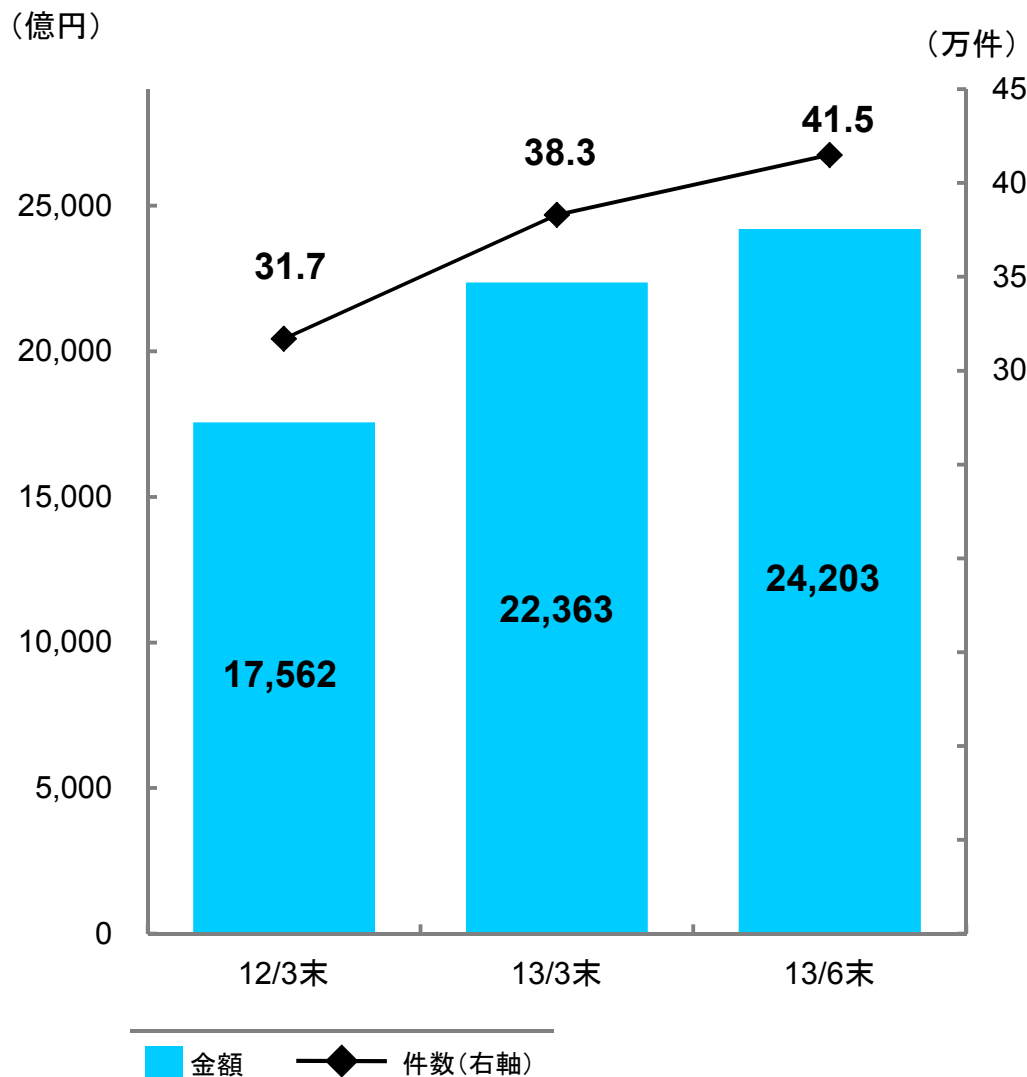
	13/3末	13/6末	増減
有価証券	28,144	20,994	△7,150
国内債券	16,275	9,344	△6,931
国内株式	6,433	7,299	+865
外国証券	5,050	4,021	△1,028
不動産	214	215	+0
その他共計	28,339	21,201	△7,138

ソルベンシー・マージン比率および実質純資産額



＜参考＞ 2013年6月末 連結ソルベンシー・マージン比率：
663.9%

保有契約高



収支の状況

(億円)

	13/3期 1Q	14/3期 1Q
経常収益	1,067	3,050
うち保険料等収入	909	2,840
うち変額商品	58	1,359
うち円建定額商品	404	607
うち外貨建定額商品	336	530
うち資産運用収益	156	210
うち最低保証リスクに対するヘッジ利益(A)	113	0
経常費用	1,223	3,213
うち責任準備金等繰入額	466	1,811
うち最低保証リスクに係る責任準備金繰入額(△は戻入)(B)	266	204
うち危険準備金繰入額(C)	4	46
うち資産運用費用	451	202
うち最低保証リスクに対するヘッジ損失(D)	-	-
経常利益(△は損失)	△ 156	△ 162
四半期純利益(△は損失)	△ 156	△ 163
四半期純利益 - (A) + (B) + (C) + (D)	0	87

【参考】

再保険収支

	13/3期 1Q	14/3期 1Q
再保険収入	109	343
再保険料	150	344
再保険収支	△ 40	△ 1

定額年金の市場価格調整(MVA)に係る責任準備金繰入額

	13/3期 1Q	14/3期 1Q
繰入額(△は繰入)	△ 42	1

第一生命

豪TAL(1)

主要業績

(百万豪ドル)

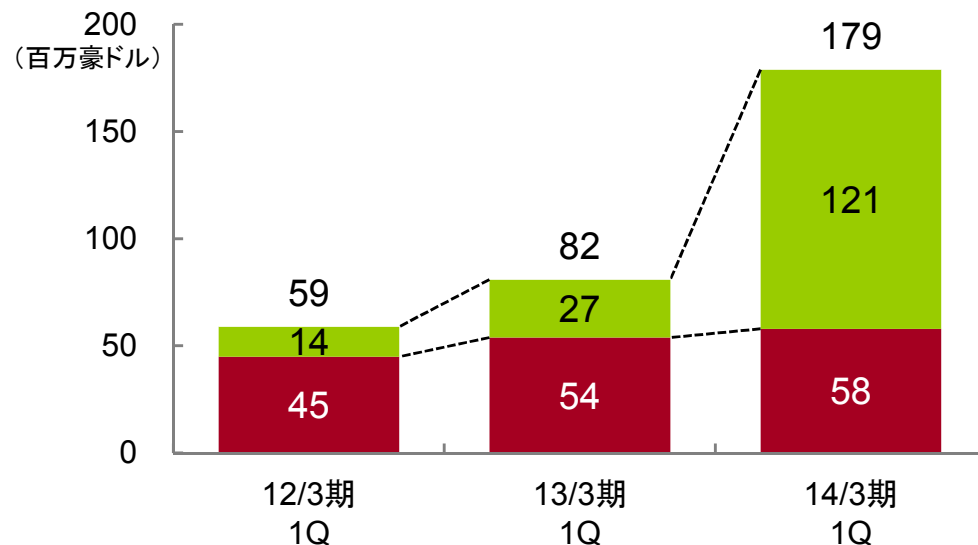
	13/3期 1Q	14/3期 1Q	前年 同期比
経常収益 (2)	574	660	+15%
うち保険料等収入 (2)	444	520	+17%
経常利益 (2)	60	20	△66%
四半期純利益(A) (2)	42	9	△78%
修正額(B)	△ 6	13	
うち負債割引率の変化	△ 16	4	
うち償却負担	5	5	
その他	4	4	
修正利益=(A)+(B) (Underlying profit)	36	22	△37%

<参考>

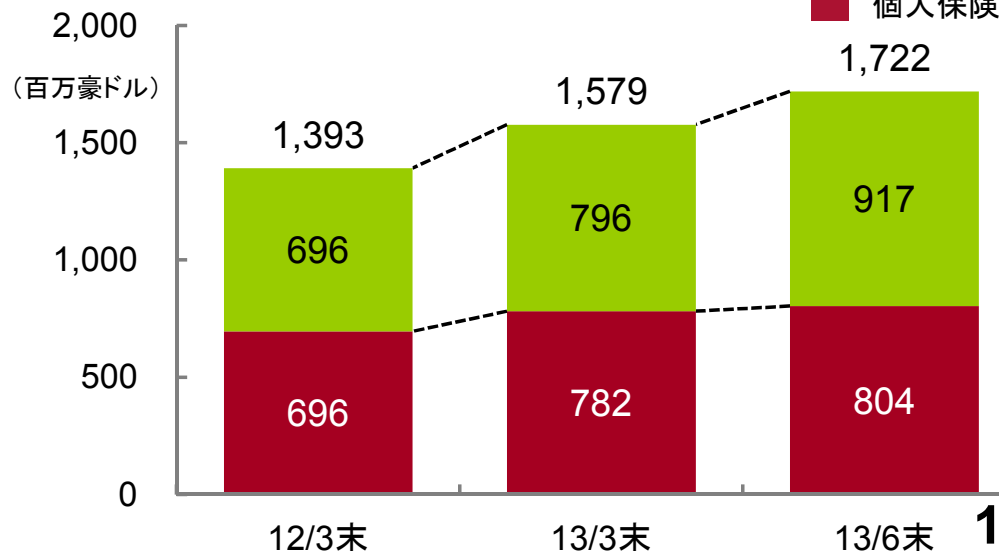
	12/6末	13/6末
為替レート(豪ドル)	79.65円	91.12円

- (1) 連結対象の豪持株会社(TAL Dai-ichi Life Australia Pty Ltd)に係る数値
 (2) オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しております(修正額及び修正利益を除く)

新契約年換算保険料



保有契約年換算保険料



第一生命

2014年3月期業績予想

- 日本の成長戦略、米国の金融緩和からの出口戦略等を見守る必要があり、連結業績予想は据え置き
- 株式分割考慮後の1株配当予想は20円

	(億円)		
	13/3期	14/3期(予)	増減
経常収益	52,839	46,630	△ 6,209
第一生命単体	43,159	38,540	△ 4,619
第一フロンティア	7,817	5,950	△ 1,867
TAL (百万豪ドル)	2,386	2,520	+ 133
経常利益	1,572	1,760	+ 187
第一生命単体	1,738	1,750	+ 11
第一フロンティア	△ 286	△ 110	+ 176
TAL (百万豪ドル)	131	130	△ 1
当期純利益	324	370	+ 45
第一生命単体	514	400	△ 114
第一フロンティア ⁽¹⁾	△ 265	△ 99	+ 166
TAL (百万豪ドル)	91	90	△ 1
1株当たり配当金	1,600円	20円⁽²⁾	---

(参考)

基礎利益 (第一生命単体)	3,145	2,800程度	△ 345
------------------	-------	---------	-------

(1) 持分考慮後

(2) 2014年3月期(予想)の期末配当金については、2013年10月1日を効力発生日として普通株式1株を100株に分割する株式分割を考慮した額を記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の年間配当額は、2,000円となります。




 ヨーロピアン・エンベディッド・バリュー(1)

■ 6月末のEVは、金利上昇により約2,200億円増加
第一生命グループのEEV(試算値)

(億円)

		13/3末	13/6末	増減
EEV		33,419	約35,700	約+2,200
	修正純資産	31,288	約27,000	約△4,300
	保有契約価値	2,131	約8,600	約+6,500

第一生命(単体、試算値)

(億円)

	13/3末	13/6末	増減
EEV	33,529	約35,900	約+2,400
	修正純資産	32,230	約△4,000
	保有契約価値	1,298	約+6,400

第一フロンティア生命(試算値)

(億円)

	13/3末	13/6末	増減
EEV	1,293	約1,300	約△0
	修正純資産	1,316	約△200
	保有契約価値	△23	約+200

(1) 2013年6月末の保有契約をベースとしています。

(2) 経済前提は2013年6月末、非経済前提は2013年3月末のものを用いています。また、保有契約価値の計算において、一部簡易な計算を実施しています。

※ なお、上記試算の妥当性について、第三者の検証は受けておりません。

ヨーロッパ・エンベディッド・バリュー(2)

TAL(試算値)

(億円)

	13/3末	13/6末	増減
EEV	1,726	約1,600	約△100
修正純資産	871	約800	約△0
保有契約価値	854	約800	約△0

<参考> TAL(豪ドルベース、試算値)

(百万豪ドル)

	13/3末	13/6末	増減
EEV	1,762	約1,800	約+0
修正純資産	889	約900	約+0
保有契約価値	872	約900	約+0

13/3末EEV:

13/3末の為替レート(1 豪ドル=97.93円)を使用

13/6末EEV:

13/6末の為替レート(1 豪ドル=91.12円)を使用

(1) 2013年6月末の保有契約をベースとしています。

(2) 経済前提は2013年6月末、非経済前提は2013年3月末のものを用いています。また、保有契約価値の計算において、一部簡易な計算を実施しています。

※ なお、上記試算の妥当性について、第三者の検証は受けておりません。

いちばん、人を考える会社になる。

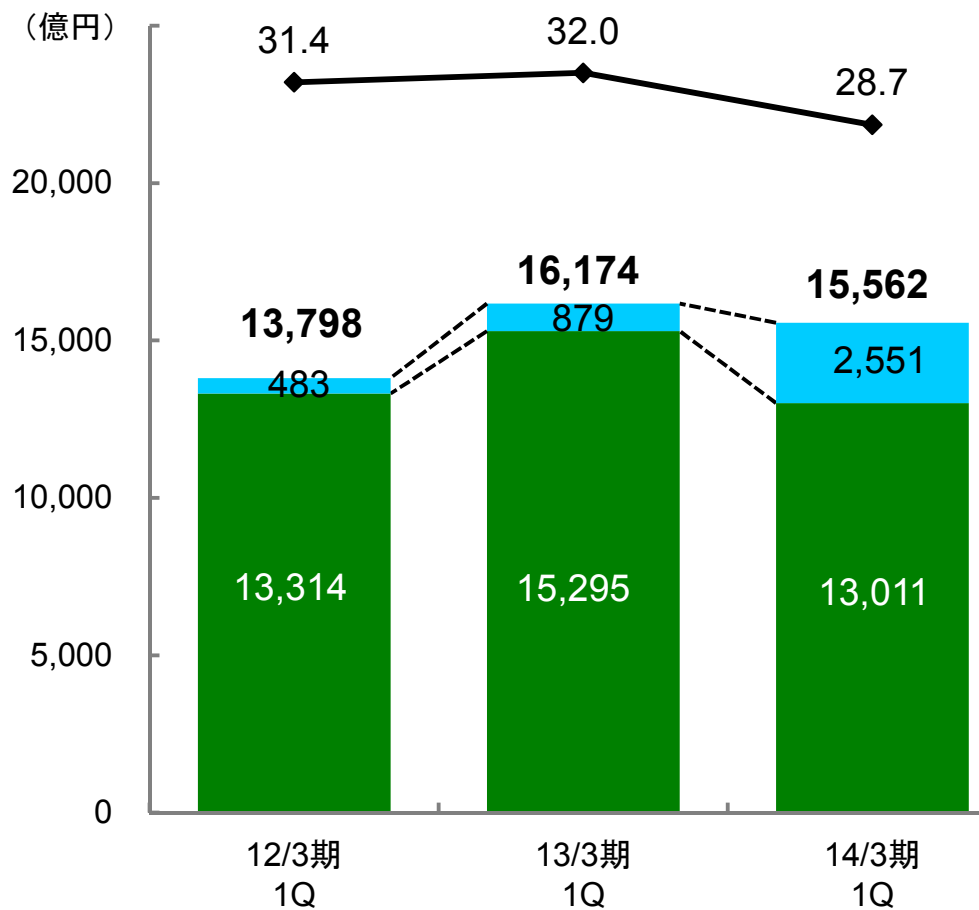
第一生命

参考データ

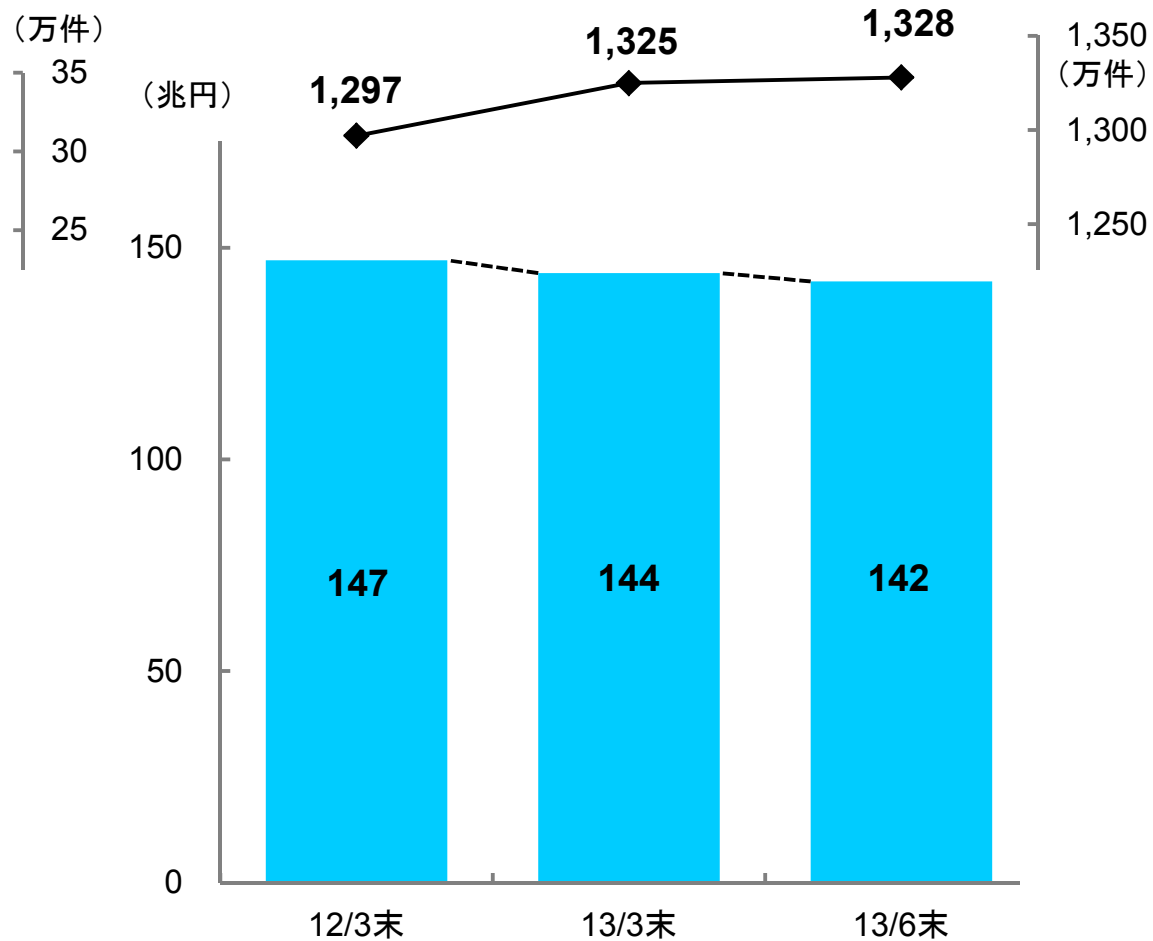
第一生命

契約高の動向(個人保険・個人年金保険)

新契約高⁽¹⁾



保有契約高⁽¹⁾



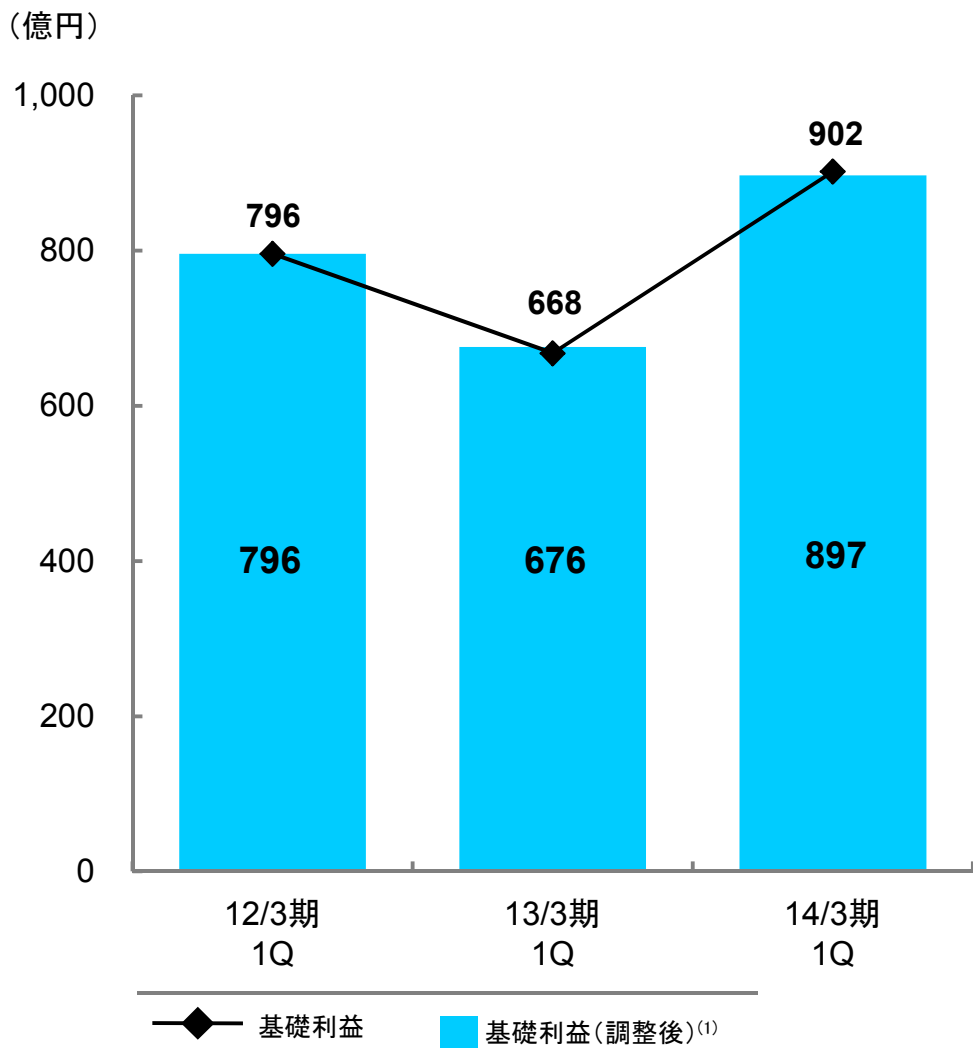
■ 第一生命 ■ 第一フロンティア生命 ◆ 件数(右軸)

■ 金額 ◆ 件数(右軸)

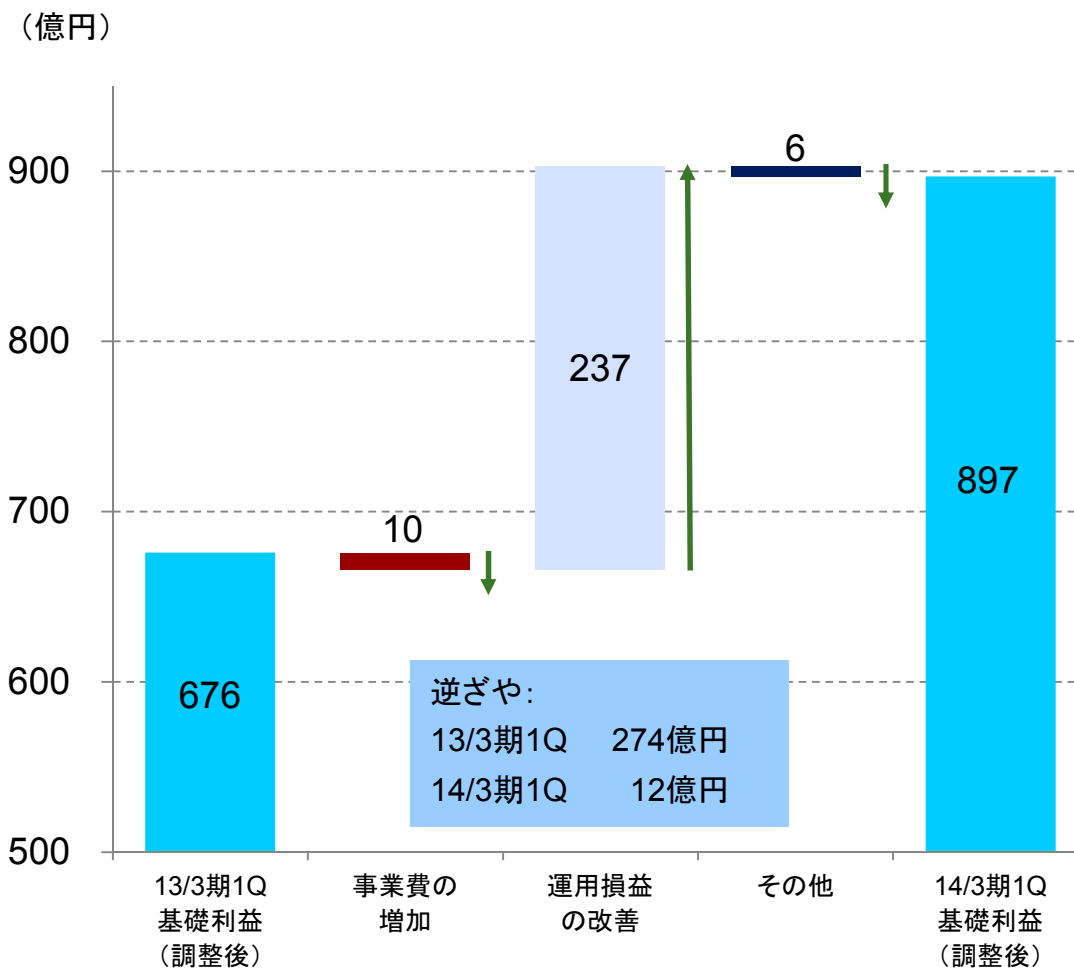
(1) 第一生命と第一フロンティア生命の合算ベース

第一生命(単体)基礎利益

基礎利益



基礎利益(調整後)の変動要因⁽¹⁾



(1) 基礎利益(調整後) = 基礎利益 ± 変額年金の最低保証リスクに係る責任準備金繰入(戻入)額



第一生命(単体)財務諸表(要約)

損益計算書⁽¹⁾

(億円)

	13/3期 1Q	14/3期 1Q	増減
経常収益	10,689	10,878	+188
保険料等収入	7,639	6,732	△907
資産運用収益	2,399	3,189	+790
うち利息・配当金等収入	1,666	1,867	+201
うち有価証券売却益	708	789	+81
うち特別勘定資産運用益	-	455	+455
その他経常収益	650	957	+306
経常費用	10,283	9,864	△418
うち保険金等支払金	6,320	5,982	△338
うち責任準備金等繰入額	649	1,243	+593
うち資産運用費用	1,353	454	△898
うち有価証券売却損	127	143	+16
うち有価証券評価損	494	13	△481
うち特別勘定資産運用損	496	-	△496
うち事業費	955	965	+10
経常利益	406	1,013	+607
特別利益	39	3	△35
特別損失	67	160	+93
契約者配当準備金繰入額	177	185	+7
税引前四半期純利益	200	670	+470
法人税等合計	△24	242	+267
四半期純利益	225	428	+202

貸借対照表

(億円)

	13/3末	13/6末	増減
資産の部合計	330,724	329,956	△768
うち現預金・コール	7,294	6,811	△482
うち買入金銭債権	2,831	2,856	+25
うち有価証券	271,619	269,311	△2,308
うち貸付金	31,396	31,780	+383
うち有形固定資産	12,360	12,278	△81
うち繰延税金資産	655	1,325	+669
負債の部合計	313,947	314,046	+98
うち保険契約準備金	291,683	292,687	+1,004
うち責任準備金	286,370	287,591	+1,220
うち危険準備金	4,950	5,130	+180
うち退職給付引当金	4,375	4,085	△289
うち価格変動準備金	884	1,024	+140
純資産の部合計	16,776	15,909	△867
うち株主資本合計	6,235	6,511	+276
うち評価・換算差額等合計	10,537	9,394	△1,143
うちその他有価証券評価差額金	10,925	9,776	△1,149
うち土地再評価差額金	△369	△372	△2

(1) 特別勘定資産運用損(益)は、責任準備金の戻入れ(繰入れ)で相殺されるため、経常利益に影響するものではありません



第一フロンティア生命財務諸表(要約)

損益計算書

(億円)

	13/3期 1Q	14/3期 1Q	増減
経常収益	1,067	3,050	+1,983
うち保険料等収入	909	2,840	+1,931
うち資産運用収益	156	210	+53
経常費用	1,223	3,213	+1,990
うち保険金等支払金	266	1,091	+824
うち責任準備金等繰入額	466	1,811	+1,344
うち資産運用費用	451	202	△249
うち事業費	36	100	+64
経常利益(△は損失)	△156	△162	△6
特別損益	△0	△1	△0
税引前四半期純利益(△は損失)	△156	△163	△7
法人税等合計	0	△0	△0
四半期純利益(△は損失)	△156	△163	△7

貸借対照表

(億円)

	13/3末	13/6末	増減
資産の部合計	23,731	25,172	+1,440
うち現預金・コール	625	449	△176
うち有価証券	22,365	23,878	+1,513
負債の部合計	23,086	24,743	+1,656
うち保険契約準備金	22,699	24,511	+1,811
うち責任準備金	22,684	24,495	+1,810
うち危険準備金	924	971	+46
純資産の部合計	645	429	△215
うち株主資本合計	572	408	△163
資本金	1,175	1,175	-
資本剰余金	675	675	-
利益剰余金	△1,277	△1,441	△163

第一生命

豪TAL財務諸表(要約)

損益計算書(1)(2)

(百万豪ドル)

	13/3期 1Q	14/3期 1Q	増減
経常収益	574	660	+85
保険料等収入	444	520	+75
資産運用収益	6	43	+36
その他経常収益	122	96	△26
経常費用	513	639	+126
保険金等支払金	291	355	+63
責任準備金等繰入額	69	125	+56
資産運用費用	19	7	△12
事業費	113	130	+17
その他経常費用	19	20	+0
経常利益	60	20	△40
法人税等	18	11	△7
四半期純利益	42	9	△33
修正利益 (Underlying profit)	36	22	△13

貸借対照表(1)(2)

(百万豪ドル)

	13/3末	13/6末	増減
資産の部合計	5,499	5,569	+69
現預金	467	455	△12
有価証券	2,808	2,805	△2
有形固定資産	-	0	+0
無形固定資産	1,263	1,256	△7
のれん	783	783	-
その他の無形固定資産	480	473	△7
再保険貸	48	56	+7
その他資産	910	995	+84
負債の部合計	3,688	3,749	+60
保険契約準備金	2,611	2,687	+75
再保険借	295	305	+9
その他負債	680	650	△29
繰延税金負債	101	106	+5
純資産の部合計	1,810	1,820	+9
株主資本合計	1,810	1,820	+9
資本金	1,630	1,630	-
利益剰余金	180	189	+9

(1) 連結対象の豪持株会社(TAL Dai-ichi Life Australia Pty Ltd)に係る数値

(2) オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しております(修正利益を除く)

金融市場への感応度(2013年6月末、第一生命単体)

	感応度 ⁽¹⁾	含み損益ゼロ水準 ⁽²⁾
国内株式	日経平均株価 1,000円の変動で 1,700億円の増減 (2013年3月末:1,700億円)	日経平均株価 ¥8,900 (2013年3月末:¥8,600)
国内債券	10年国債利回り 10bpの変動で 2,300億円の増減※ (2013年3月末:2,400億円) ※その他有価証券区分:400億円の増減 (2013年3月末:500億円)	10年国債利回り 1.2%※ (2013年3月末:1.2%) ※その他有価証券区分:1.5% (2013年3月末:1.4%)
外国証券	ドル/円 1円の変動で 280億円の増減 (2013年3月末:260億円)	ドル/円 \$1 = ¥88 (2013年3月末:¥84)

(1) 各指標に対応する資産の時価総額の感応度

(2) 各指標に対応する資産の含み損益がゼロとなる水準。外国証券はドル円換算にて算出した、為替要因のみの含み損益がゼロになる水準

第一生命

本資料の問い合わせ先

第一生命保険株式会社
経営企画部 IR室
電話:050-3780-6930

免責事項

本プレゼンテーション資料の作成にあたり、第一生命保険株式会社(以下「当社」という。)は当社が入手可能なあらゆる情報の正確性や完全性に依拠し、それを前提としていますが、その正確性または完全性について、当社は何ら表明または保証するものではありません。本プレゼンテーション資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。本プレゼンテーション資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が公開または利用することはできません。

将来の業績に関して本プレゼンテーション資料に記載された記述は、将来予想に関する記述です。将来予想に関する記述には、これに限りませんが「信じる」、「予期する」、「計画」、「戦略」、「期待する」、「予想する」、「予測する」または「可能性」や将来の事業活動、業績、出来事や状況を説明するその他類似した表現を含みます。将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいています。そのため、これらの将来に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績は将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。